

名岐道路の早期事業化に関する
要 望 書



名岐道路整備促進期成同盟会
名岐道路整備促進期成協議会
名古屋商工会議所
一般社団法人中部経済連合会

名岐道路の早期事業化に関する要望

尾張地域、岐阜地域には、航空宇宙産業などの先端ものづくり産業や伝統的な地場産業が集積し、地域の発展に大きく寄与しております。

さらに、この中部経済圏は、2027年度のリニア中央新幹線開業により、新しい時代を開く中京大都市圏として一層の発展が求められています。

一方、日本の大動脈である名神高速道路を始め、東海北陸自動車道、国道22号等で発生する慢性的な渋滞が日本経済に与える損失は大きく、**効率的な物流ネットワークの構築が喫緊の課題**となっております。

人口減少時代を迎え、日本経済の持続的な成長を実現するには、道路ネットワークを構築・強化することで渋滞を解消し、**生産性の向上による国際競争力の強化や、リニア効果による国内外との多様な交流・連携**を図る事が重要となります。

また、昨年発生した熊本地震など激甚化する自然災害からの脅威、南海トラフ巨大地震への防災対策には、代替性・多重性を確保した道路ネットワークの強化による、地域を越えたサプライチェーンの構築など、**国土の強靱化**が重要な課題であります。

尾張地域の渋滞対策については、愛知県道路交通渋滞対策

推進協議会の一宮エリア渋滞対策推進ワーキング部会を設立し、**地域が一体となって、短・中期的な対策の検討**をすすめています。

しかしながら、地域の抱える課題を抜本的に解決するためには、**名岐道路の早期整備が必要不可欠**であると考えます。

つきましては、次の事項について格別のご配慮を賜われますようお願い申し上げます。

記

・国際ゲートウェイと直結し、地域経済の好循環をはかり、企業進出や観光客の増加、さらには災害に対する安全・安心の地域づくりなど多くのストック効果、生産性の向上を高める、**名岐道路について早期事業化に向け、道路構造や整備手法の検討を推進すること。**

・**名岐道路を含め中京圏の高速道路ネットワーク整備のスピードアップに向けた財源確保のため、早期に中京圏の高速道路料金の見直しをすること。**

平成29年2月13日

名岐道路整備促進期成同盟会

会 長	一 宮 市 長	中 野 正 康
副 会 長	岐 阜 市 長	細 江 茂 光
常任理事	各 務 原 市 長	浅 野 健 司
監 事	岐 南 町 長	松 原 秀 安
監 事	笠 松 町 長	広 江 正 明
理 事	一宮市議会議長	末 松 光 夫
理 事	岐阜市議会議長	須 田 眞
理 事	各務原市議会議長	岡 部 秀 夫
理 事	岐南町議会議長	櫻 井 明
理 事	笠松町議会議長	古 田 聖 人

名岐道路整備促進期成協議会

会 長	一宮商工会議所 会 頭	豊 島 半 七
副 会 長	岐阜商工会議所 会 頭	村 瀬 幸 雄
理 事	各務原商工会議所 会 頭	柳 原 幸 一
理 事	岐南町商工会 会 長	黒 田 隆
理 事	笠松町商工会 会 長	岡 田 悠 子
理 事	柳津町商工会 会 長	廣 瀬 進
理 事	尾西商工会 会 長	小笠原 勝 博
理 事	木曾川商工会 会 長	五 藤 政 尋

名古屋商工会議所 会 頭 山 本 亜 土

一般社団法人
中部経済連合会 会 長 豊 田 鐵 郎

地域高規格道路 名岐道路の事業推進

～名古屋圏域と岐阜圏域をつなぎ、都市間連携、

名岐道路の整備（ストック効果）

高速道路ネットワークの整備・強靱な国土の形成

代替性・多重性の確保、信頼性の高い道路ネットワークが整備され、強靱な国土形成が図られ、生産・物流機能や空港、港湾等の運輸・交流機能を強化します。

ものづくりの躍進（航空宇宙産業等）

広域交通・物流の効率化、サプライチェーンの確保

国際競争力アップ、空港・港湾のゲートウェイ化

リニアインパクトの活用

リニア中央新幹線の経済波及効果を中部圏に拡大し、産業・観光など日本経済をけん引します。

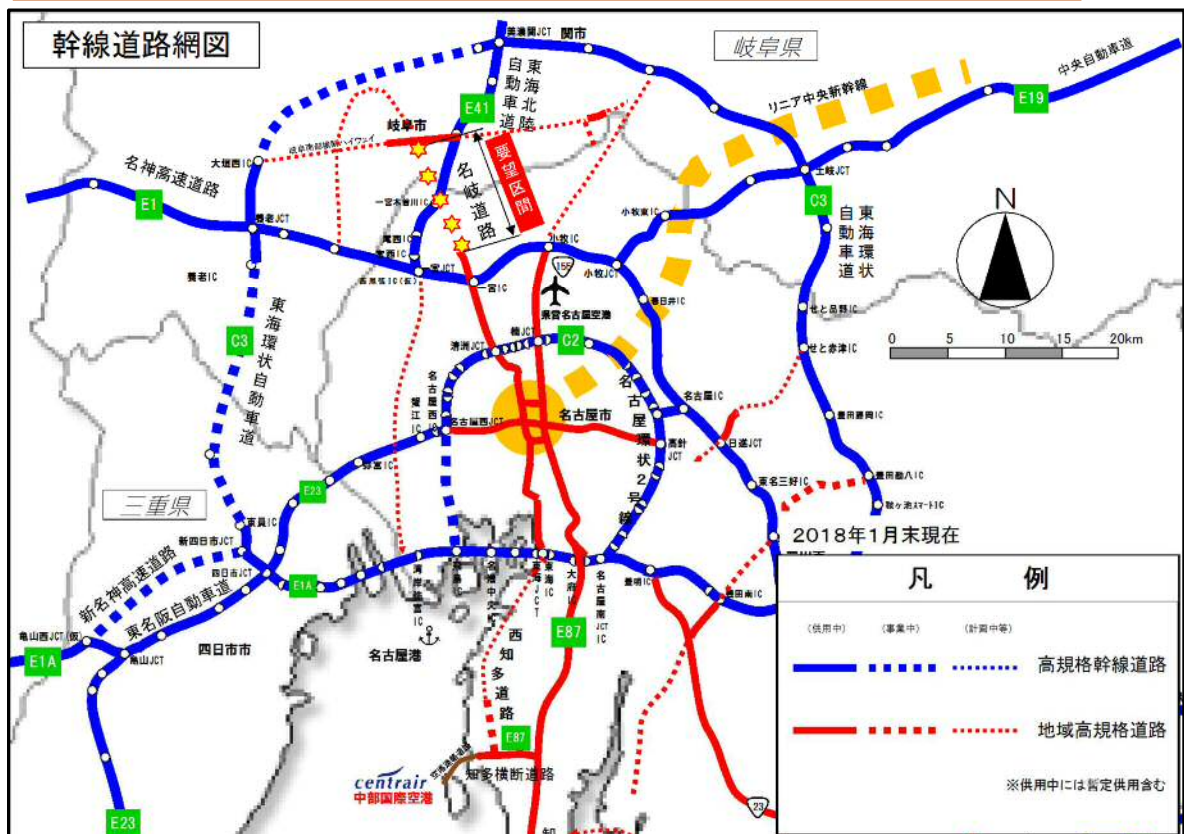
中京大都市圏の実現

インバウンドの増加、昇龍道プロジェクト支援による
観光立国の実現

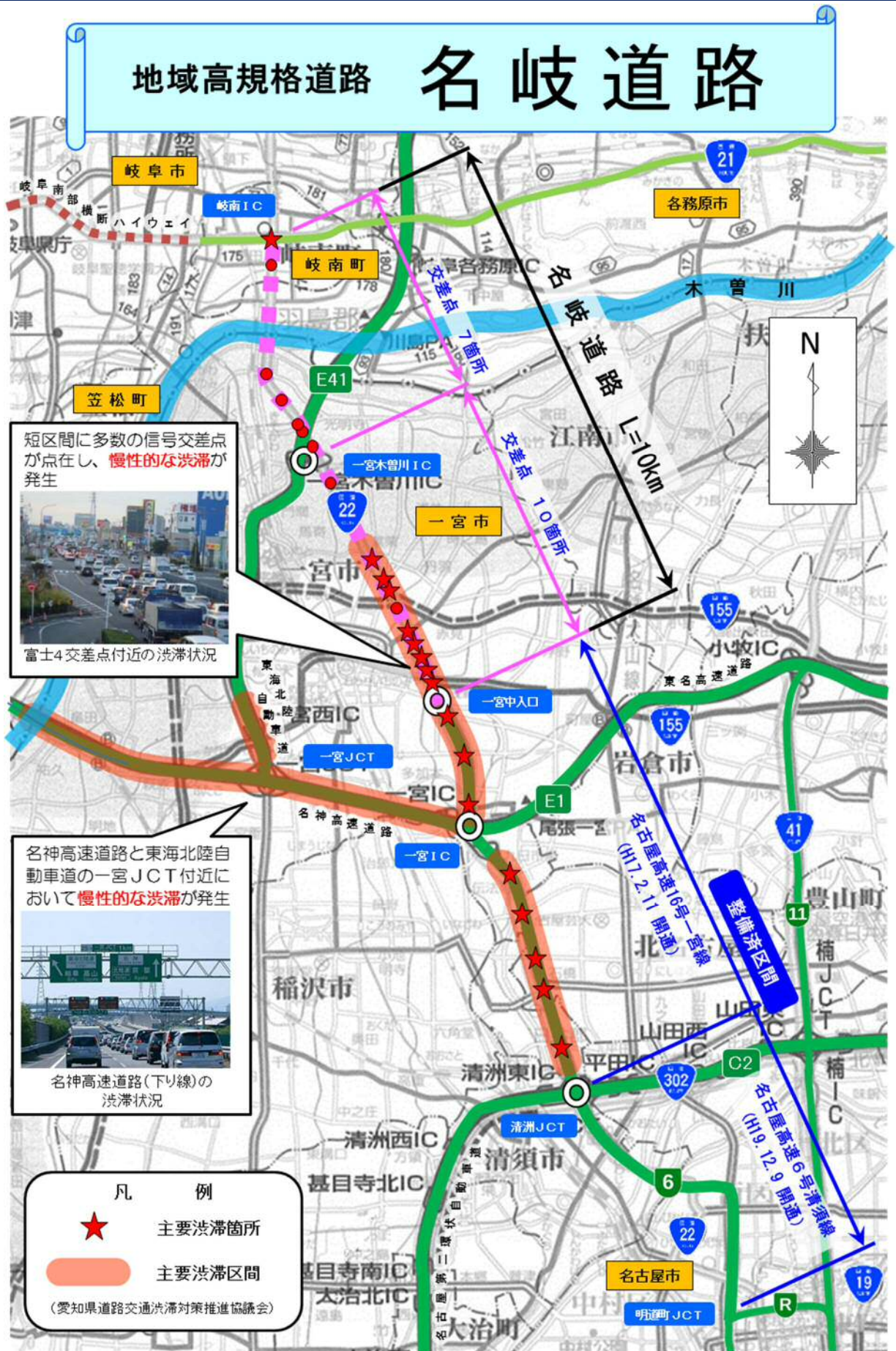
名古屋～岐阜間の交流の活性化

地域の動脈である国道22号の渋滞を解消することで、名古屋と岐阜の交流・経済の活性化を図ります。

輸送効率化、時間・エネルギーロスの解消



地域経済に好循環をもたらす地域期待の道路～



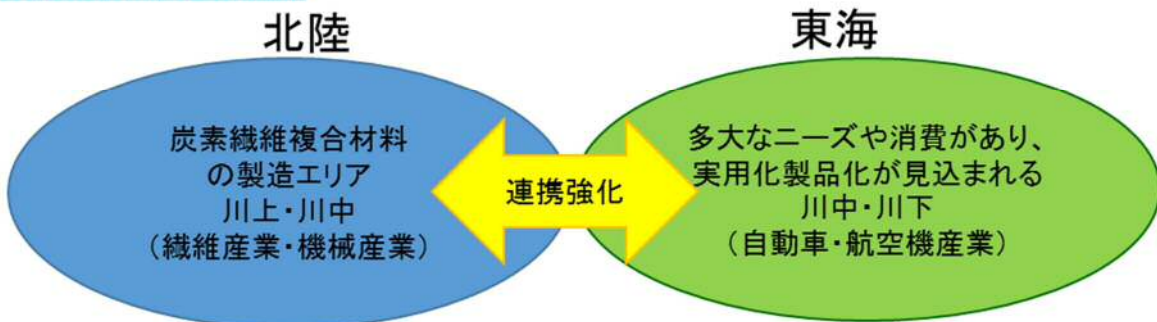
ストック効果（その1）

(1) 東海地方と北陸地方の連携を強化し、新たな産業集積を
 ～ 炭素繊維複合材料の一大拠点・産業集積形成を目指す！！



(2) 名岐道路の全線開通
 ⇒ 東海・北陸の連携強化により、炭素繊維複合材料の拠点形成・
 企業集積。さらなる自動車産業・航空産業の発展を！

■コンポジットハイウェイ構想



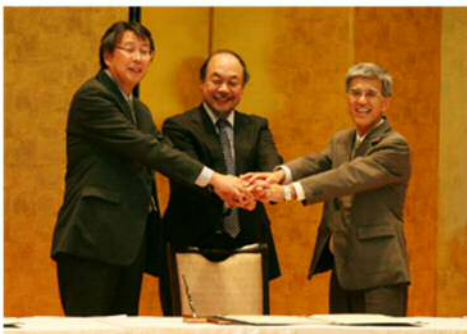
出典：金沢工業大学 HPを参考に作成

【炭素繊維複合材料(CFRP)】

強化材として炭素繊維(鉄の10倍の強度を持ちながら重さは1/4)を用いたプラスチックであり、変形しにくく、酸やアルカリにも強い等の特長がある。レーシングカーのフレーム、自転車のフレームやパーツ、航空機の翼等に利用されている。

■炭素繊維複合材料研究開発の世界的拠点形成に向けて ～金沢工大、岐阜大、名古屋大が協定締結～

平成26年11月12日、金沢工業大学ICCと名古屋大学NCC、岐阜大学GCCは炭素繊維複合材料に関する連携協定を締結



写真は左から
 金沢工業大学ICCセンター所長、名古屋大学NCCセンター長、岐阜大学GCCセンター長

出典：金沢工業大学 HPより



東海と北陸を結ぶ
 東海北陸自動車道、
 名古屋と岐阜を結ぶ
 国道22号で
 慢性的に渋滞が発生

名岐道路の整備により速達性・定時性確保
 ↓
 東海・北陸の連携軸強化

アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区関連企業

■炭素繊維関連企業立地状況

【航空宇宙産業特区関連企業(一宮市)】
 航空宇宙産業におけるアルミから炭素繊維複合材への機体構造部材の変化にいち早く対応し、炭素繊維複合材の成形用治工具を得意とする。

東海地方、北陸地方の連携強化により、
 炭素繊維の一大拠点を形成、産業を集積。
 自動車産業・航空産業のさらなる発展を目指す！

ストック効果（その2）

- (1) 信長公にゆかりの岐阜が日本遺産第1号に認定
 信長公に関連する4つの城で「信長公居城連携協議会」を設立
 ～ 広域的な地域連携により観光振興を図る
 ⇒ 各城を結ぶ名神高速・国道22号が渋滞し、定時性・速達性の低下



- (2) 名岐道路の整備
 ⇒ 地域間の定時性・速達性を確保し、新たな観光需要を創出

■都市間連携による広域観光 ～信長公居城連携協議会の取組～

平成22年8月2日に、戦国武将「織田信長公」が城を構えた地である、岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市の四市が連携し、「信長公居城連携協議会」を設立。

「織田信長公」の歩みを現代において体感できる広域連携の路を確立し、信長公の居城をキーワードとした共同PRなどで、観光振興を図る。



左上:清洲城
 右上:岐阜城
 左下:小牧山城
 右下:安土城

出典：信長公居城
 連携協議会HP

■岐阜市ブランド活用による地域活性化

「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜のストーリーが、日本遺産第1号に認定



2017年に織田信長公が「岐阜」と命名してから450年を迎えることを契機とし、都市ブランド化と観光活性化等を図るためのプロジェクトを実施



岐阜命名 四百五十年目のおもてなし
 —受け継ぐ信長公の心—

- ・外国からの観光客に、城や古い街並みは大変人気がある。
- ・ただし、一つの城だけではなかなか観光客も来てくれない。地域のお城を周遊するなどの、観光のストーリー作りも重要になってくる。

【一宮市 観光ガイドへのヒアリングより】



出典：信長公居城連携協議会HP
 信長公居城MAPを加工

岐阜城と小牧山城・清洲城・安土城を結ぶ、名神高速自動車道・東海北陸自動車道の一宮JCT付近や国道22号（一宮市内）に渋滞が発生。

定時性・速達性の低下し、観光ルートの開発にも支障が生じる。

名岐道路を整備することにより
 名神高速・東海北陸や国道22号の
 渋滞が緩和される。

定時性・速達性が向上し、
 各城を結ぶ新たな日帰り観光ルートが創出。

リニア開業効果による広域からの観光客へ
 新たな観光の提案が可能に！！

ストック効果（その3）

- (1) 愛知県は全国8位農業算出額 ⇒ **野菜 6位**
- (2) あいちの伝統野菜35品 ⇒ **尾張地区15(7+8)品**
- (3) **名岐道路の整備**
 - ⇒ 尾張と関東・関西の**輸送の定時性！**
 - ⇒ さらに**伝統野菜の販路拡大！**



あいちの伝統野菜

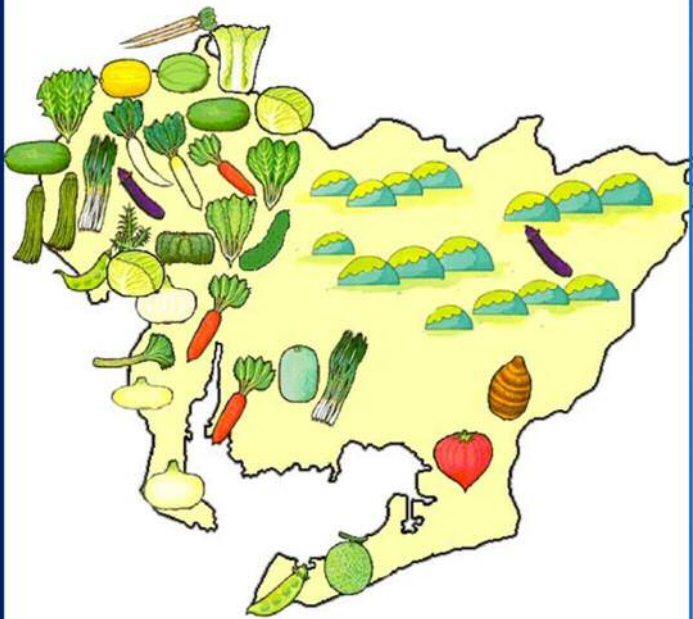
愛知県は、温暖な気候と豊かな水や土に恵まれ、沢山の農家の人の力によって、古くから野菜づくりが盛んであった。

尾張地域を中心に種や苗を育てて売る種苗業者が生まれ、彼らの知恵と技術を結集し、優れた品種を作り出し全国の野菜作り大きく貢献してきた。

・「あいちの伝統野菜」の4条件

- 今から50年前には栽培されたもの
- 地名、人名がついているものなど愛知県に由来しているもの
- 今までも種や苗があるもの
- 種や生産物が手に入るもの

■ 伝統野菜マップ



■ 越津ねぎ

古くは江戸時代中期に現在の愛知県津島市越津町周辺で栽培され始め、当時は徳川幕府へ献上されていた。



2017 in のしろ
全国ねぎサミット
を契機として
「ねぎ」に対する意
識さらに深め全国
展開
(ヒアリングより)



平成12年に江南市と岩倉市が国からねぎの指定産地に認定。中京地域をはじめ関東地域にも安定出荷



徳川将軍献上品の越津ねぎは
柔く、甘くおいしい愛知の伝統野菜

【高速道路】
一宮JCTを中心に、名神
高速道路・東海北陸自
動車道が渋滞
【一般道】
国道22号が渋滞



名岐道路を整備することにより
渋滞が解消され、
市場と産地が近くなる。

速達性が向上し、
全国の市場にもスムーズに。
あいちの野菜全国展開を後押し